



家保通信

平成18年度 10月号
熊本県天草家畜保健衛生所

TEL 0969-22-3668

FAX 0969-24-4393

e-mail amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/amakusa/amakusa-index.htm>

「学校飼育動物と家保の取り組み」

動物由来感染症監視体制整備事業

現在、天草管内の全ての小学校では、愛玩動物が飼育されています。そのような状況の中、飼育に携わる者や周辺の畜産経営への衛生上の影響も考えて、熊本県では平成12年度から動物由来感染症監視体制整備（教育現場型）事業に取り組み、管内の教育施設を対象に、学校飼育動物に関する実態調査を実施し、飼育実態や衛生状況などを把握し、衛生意識の向上活動を行っています。

天草家畜保健衛生所での取り組み ～実態調査と衛生指導～

実態調査として飼育施設および飼育動物の立ち入り調査を実施し、家禽類とウサギの糞を用いて、食中毒の原因菌の検査と、寄生虫検査を実施しています。

その他、家畜防疫の観点から、鶏の採血を行いニューカッスル病の抗体検査を実施しています。また飼育舎消毒方法などの衛生指導を行っています。



～飼育舎の消毒指導～



～動物の聴診体験～

～講習会などでの啓発活動～

学校での児童や教員を対象とした講習会、熊本県獣医師会天草支部主催により天草保健所で行われた動物愛護まつりへの協力参加などにより、一般的な動物由来感染症や高病原性鳥インフルエンザに対する啓発活動を実施しています。

調査結果と教育現場の現状

調査の結果、サルモネラ、カンピロバクターなどの人の食中毒の原因菌は、分離されませんでした。コクシジウムなどの寄生虫については、一部認められました。重度寄生例はなく、血便などの症状も見られませんでした。なお、寄生例については駆虫を行いました。

ニューカッスル病抗体検査では、全例陰性で病気の浸潤は認められませんでした。一方、今後の侵入に備え、防疫対策が必要と考えられました。

動物由来感染症に関する講習会

平成18年10月23日に、天草市杵宇土小学校にて天草市の小学校42校の飼育担当教諭を対象に動物由来感染症に関する講習会を行いました。人畜共通感染症の概要、学校における動物飼育の留意点について説明し、ニューカッスル病ワクチン接種のデモンストレーションを行いました。

特にニューカッスル病においては近年、小規模飼養場や愛玩鶏に発生していることもあり、参加者に「図解入りワクチンパンフレット()」を配り、自ら実施して貰うことにより、ワクチン接種を学んでもらいました。今後は、獣医師の指導のもと各小学校での接種を呼びかけています。



～動物由来感染症講習会～



～ニューカッスル病ワクチン実習～

()パンフレットは当家保にて作成、配布しております。ご希望の方はお問い合わせ下さい。